

令和4年度 田村高等学校第75回卒業式 校長式辞

令和5年3月1日
福島県立田村高等学校長
尾形 幸男

松径坂に降り注ぐ日差しが日々優しくなり、命の躍動する春の訪れを感じる季節となってきた今日のおき日、御来賓の方々、保護者の皆様の御列席のもと、第75回卒業式を挙行できますことは、卒業生はもとより、教職員一同にとりましてもの上ない喜びであり、心より感謝申し上げます。

ただ今、高等学校の全課程を修了した、普通科133名、体育科38名 計171名の卒業生に対しまして、栄えある卒業証書を授与いたしました。

田村高校の希望の光となった皆さん、卒業おめでとう。

振り返れば、皆さんは小学校入学直前に東日本大震災及び原発事故に見舞われ、入学式が延期になり、学校に登校することも儘ならず、外遊びも制限されるなど誰も経験したことのない時間を過ごしました。

更に、中学校の卒業を迎える前に新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まり、本校に入学後も3年間にわたって、様々な制限を受けながら、本日の卒業を迎えました。

本校は、今年度創立100周年を迎え「田高再生」をスローガンとし、先輩方が積み重ねた、輝かし歴史の節目の年として、皆さんに奮起を促した1年でした。

そのような中、皆さんの活躍は我々教職員の想像を遥かに超えるものでした。

様々な苦難と制約の日々を全て打ち払うかのように、皆さんの学校生活は輝いて見えました。

部活動では、野球部が甲子園を目指した県大会で、半世紀以上の時を超え、ベスト4進出という扉をこじあけ、県立の雄としてその名を県内に知らしめました。

ウエイトリフティング部は、2名の3年生がインターハイ、国体でダブル入賞を果たすという快挙を成し遂げました。その他多くの部活動に於いても、今までの記録を塗り替える等の活躍があり、連日、新聞紙上を賑わせてくれました。もちろん、文化部の活動も同様です。部活動は、勝利するだけではなく、生徒自身が新たな自分を見だし、やり遂げた自分を認め自信に繋げ、人間力の向上を目指す為に、自主的に行うものであります。それを体現してくれた多くの生徒に、心から拍手を送りたいと思います。

また、皆さんは「地域連携」にも積極的に取り組み、三春町の方々との協働により、大きな実績を残し、後輩に道標を示してくれました。

「滝桜観光ボランティア隊」の活動は、高校生社会貢献活動コンテストで優秀賞、ふくしま経済・産業・ものづくり学生部門銀賞を受賞しました。更に、三春町に「みらい創生課」が設立され、本校生徒と町がタッグを組んで、町の活性化の一役を担う取り組みがなされスイーツの開発や、コミュタン福島との連携を果たすなど、田村高校は部活動だけではなく生徒の様々な能力を引き出し地域社会と共に成長できる学校であることを証明してくれた一年になったと感じています。

更に、創立100周年を記念し開催した「松径祭」。その開催までの道のりは決して平坦ではありませんでした。コロナ感染状況に一喜一憂し、一般公開するか？入場者の制限は？等々、先生方と生徒が議論を深め、一つずつ解決し成功裡に終えることができました。準備に奔走した生徒は、「松径祭の成功は、到底一人では辿り着けない結果です」と表現しました。みんなの熱い気持ちが一人では動かせないものを、動かす力になることを実感した瞬間だったのではないのでしょうか。

そして、何より私が嬉しかったのは皆勤賞を受賞した3年生が29名もいたということです。皆さんが本校での生活を大切にし、自分自身の可能性を信じ、充実させてきた証であり、私は、皆さんのその真摯な姿こそ、田村高校の誇りであると感じました。

どんな状況でも、前向きに捉え与えられた環境の中で、耐える理由を探しながら、

いくつも答えを探しながら、悩んで自分を知り、高校生活を成し遂げ、卒業証書を手にした皆さんは、見事に田村高校の希望の光となったのです。

保護者の皆様、お子様の御卒業誠におめでとうございます。皆様の御子息は、コロナ禍の中という当たり前ではない時間の中で多くの経験を重ね、幾多の試練に耐えて立派に成長してくれました。誇れる、わが子の姿を目の前にして、感慨もひとしおではないでしょうか。皆様が3年間にわたり、御子息を温かく見守り続けることがどれだけ大変であったか。それをやり遂げた皆様の信念と愛情に、心から敬意を表し、お祝い申し上げます。

卒業生の皆さん、いよいよお別れです。

私から、皆さんに最後に伝えたいことは、その「命」をくれぐれも大切にしたいということです。我々は、「命の尊さ」「命の儚さ」「当たり前が当たり前ではない」理不尽な状況にいつ遭遇するかわからないことを身をもって知らされました。

どうか、与えられた命で今を、明日を生きて、生き抜いてください。どんなに辛くても、生きる事こそが自分の価値であると信じ、逞しく、歩んでくれることを心から期待しています。

田村高校で学ぶことを成し遂げた自分自身に、自信と誇りを持ち、「他人からの評価」や「他人との比較」で振り回されることがないように自分を愛することで、自己肯定を維持し、新たな未来への一歩を踏み出してください。

皆さんが放った、希望の光はここにいる後輩たちが引継ぎ、新たな田村高校の歴史を積み重ねて行きます。

そして、我々、教職員はこれからも、たゆみなく、伝統ある田村高等学校の教育の充実・発展のため、更には保護者の方々や地域に信頼され、本校の存在価値が更に高まるよう邁進してまいります。

皆様方には今後とも、田高生の活躍を注視し、御支援くださいますよう、お願い申し上げます。式辞といたします。